

2013 年度第 1 回 長崎大学経済学部ファカルティセミナー

2013 年度第 1 回長崎大学経済学部ファカルティセミナーを以下の要領で行います。教職員、大学院生、学生の参加をお待ちしています。

日 時：2013 年 5 月 30 日（木） 12:50～14:20

場所：東南アジア研究所 1 階 ファカルティセミナー室

報告者：山口 聖（長崎大学経済学部）

報告タイトル：配当と自社株買い

要旨：

2001 年の金庫株解禁を受けて、自社株買いは配当と並び、わが国企業の利益還元手段として定着した。企業が自社株買いを利用するようになった背景には、さまざまなものが考えられるが、最も単純な動機は、企業は配当として支払っていた利益を、自社株買いで支払うようになったというものである。この場合、両者の間に代替的な関係が存在することになる。一方、配当と自社株買いで最も大きく異なるのは、実施する時点を選べるかどうかという点である。配当は実施する時点を選択できないのに対し、自社株買いは選択することができる。株価が過小評価された時点で自社株買いを実施出来れば、自社株買いは配当に比べて既存株主の株主価値を高めることが可能となる。

本報告では、企業が自社株買いを利用するようになった結果、配当と自社株買いという二つのペイアウト手段の間にどのような関係が成り立っているのか、そして、企業は株価が過小評価された時点を選択して自社株買いを行っているのか、を明らかにすることにより、企業が自社株買いを利用する動機の一つの解明を試みる。

ファカルティセミナーでの報告を希望される方は、研究委員会ファカルティセミナー担当者（大倉）までご連絡下さい（メール：okura@nagasaki-u.ac.jp 内線：328）。また外部者による報告も受け付けています。